

第2回盛岡広域圏経済戦略策定懇話会資料

盛岡広域圏における観光振興の 取組について

平成26年10月27日(月)

盛岡広域振興局経営企画部

管内の観光関係会議

1. 県央広域観光推進会議（H19～）

構成：管内市町等の観光関係者

2. 県央北部広域観光推進協議会（H19～）

構成：八幡平市、岩手町、葛巻町の行政及び商工団体

3. 十和田八幡平地域広域観光推進会議（H21～）

構成：盛岡振興局、秋田県鹿角振興局、八幡平市、鹿角市、小坂町、八幡平市観光協会、十和田八幡平観光物産協会、鹿角広域観光推進会議

4. 雫石・田沢湖・角館地域誘客促進事業実行員会（H24～）

構成：盛岡振興局、秋田県仙北振興局、仙北市、雫石町、田沢湖・角館観光連盟、角館町観光協会、しずくいし観光協会

5. 盛岡・八幡平観光推進協議会（H22～）

構成：盛岡市、八幡平市、宮古市、滝沢市、鹿角市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、岩泉町、小坂町、関係市町の観光協会・商工団体・漁協

6. 秋田岩手広域観光推進協議会

構成：仙北市、北秋田市、雫石町、国交省、秋田県、岩手県、秋田県及び岩手県の観光団体

7. 八幡平国立公園協会（S32～）

構成：管内の県議、県、環境省、盛岡市、滝沢市、雫石町、民間（JRなど）、盛岡森林管理署、岩手北部森林管理署、管内観光協会、自然公園財団、管内山岳協会

盛岡・八幡平元気まるごと発信事業実行委員会

- 1.構成：管内市町、観光協会、商工団体、鉄道・旅客関係、マスコミ関係各社
- 2.委員長：盛岡市長（事務局：盛岡広域振興局経営企画部）
- 3.設立：平成24年10月18日
- 4.経緯：ポスト・DC（デステネーション・キャンペーン）として圏域の盛り上がりを継続
- 5.事業内容（平成26年度）
 - (1)イベントを通じた食の魅力発信
 - ・10/4,5もりおか広域まるごとフェア
 - ・11/8,9いわて麺フェスタ
 - ・H27.2いわてS-1スイーツフェア2015※県、市町で負担金を拠出
 - (2)マンガを活用した地域の魅力発信
 - ・いわて国体の開催により若年層が来県することから、観光資源などマンガで情報発信（マシェリに6回連載、冊子1万部印刷予定）
 - (3)冬期間のイベントや観光資源の一体的な情報発信
 - ・各種イベント、温泉・スキー場等の観光資源について一体的に情報発信
 - ・ガイドマップ、ポスター作製
 - ・主要施設でのキャンペーン

H26広域振興事業

(広域連携観光魅力づくり推進事業)

1.SL銀河マルシェ(広域連携観光魅力づくり推進事業※9月補正でS-1スイーツ分を増額)

- ・開催:7/27(日)・3千人、8/24(日)・4千人、9/28(日)・4千人:計3回・1.1万人
- ・場所:JR盛岡駅前「滝の広場」
- ・内容:ステージイベント、圏域市町・SL沿線市町特産物の物販、SL検修庫見学ツアー
- ・主催:盛岡広域振興局
- ・共催:盛岡市、JR東日本盛岡支社、JR盛岡駅
- ・後援:圏域市町、SL運行沿線市町、盛岡駅前商店街振興組合

2.国際観光(台湾観光客市場開拓事業)

(1)トップセールス・商談会

- ・時期:5/25(日)～5/29(木)
- ・訪問先:台北市、台中市、高雄市にて旅行商業団体等訪問、商談会開催
- ・訪問者:盛岡市長、八幡平市副市長、振興局長、管内観光団体・事業者など:計19名

(2)台中国際旅行展覧会出展・旅行業者へのPR

- ・時期:10/3(金)～10/6(月):入場者11.9万人
- ・場所:台中市「台中世界貿易センター」
- ・出展:盛岡・八幡平エリアのブース出展、パンフ配布・観光地などの紹介、さんさ踊り演舞
- ・訪問:台中市、台北市で旅行業者9社と面談

(3)受入態勢整備セミナー

- ・H27.2頃、市町関係者と課題検討、(新)外国人スキー客向け盛岡～八幡平バス運行

圏域における観光振興の課題

- 宿泊客数の伸び悩み、観光消費額の落ち込み→宿泊業者は厳しい経営
- 教育旅行の地域間競争が激化→盛岡広域への来校数は県全体の6割で影響大
- 外国人観光客(台湾、香港、韓国等)は回復せず→盛岡広域は県全体の5割で影響大

(参考)台湾からの入込数(人)出典:「いわての観光統計」

区分	H22	H23	H24	H25	H25/H22
県全体	49,912	12,993	21,409	36,405	▲27.1%
盛岡広域	24,771	8,662	13,843	19,154	▲22.7%
割合(%)	49.6	66.7	64.7	52.6	—



- ◇盛岡広域には、県内観光インフラ(ホテル収容人数は県全体の約7割)が集積しており、地域経済上からも誘客による底上げが必要
- ◇国内外での盛岡・八幡平(盛岡圏域)の知名度はいまだ低いが、交通アクセスの利便(函館新幹線、宮古盛岡復興道路)、台湾チャーター便就航など好機
- ◇盛岡広域では、H28冬季国体、秋季国体、障害者スポーツ大会の多く競技を実施(冬季国体3/3競技、秋季国体15/37競技、スポーツ大会6/14競技)
- ◇台湾の旅行業者は当圏域の観光地、宿泊施設を熟知しており、窓口を明確にして圏域全体の交通、宿泊、観光スポットの詳細な情報提供に期待

これからの取組の方向(案)

①企画機能の充実

- ・広域の7観光関係会議の整理統合
 - ・盛岡市+振興局で広域観光基盤組織を検討(職員を市又は振興局に派遣駐在)
- 将来、8市町観光部門共通(企画、情報発信)の行政組織(一部事務組合、広域連合など)を設置

②情報発信の拡充

- ・圏域に立地するIT企業に観光施設、宿泊施設などに関する効果的情報発信システムの開発、委託
- ・企業見学、大規模な開花場所など新たな観光スポットも発掘、発信
(情報発信するIT企業には、年数回の実地巡回を通して情報と現場との認識の乖離を防止)

③受入態勢の充実

- ・国際観光対応
多言語表示(物販店の展示品、飲食店のメニューなど)、免税店拡大、WiFi情報環境の整備
- ・国体対応
周遊ナビ・システムの構築(施設、飲食店など行きたい場所を入力すると、距離・所要時間などが検索表示されるシステム)、国体メニューの普及
- ・その他
国際会議・見本市(コンベンション)、全国規模の会議、学会の誘致

④国際観光の促進

- ・台中国際旅行展覧会に出展(一般客への案内)、台北市・台中市の旅行業者訪問